

メルセデス・ベンツ新型Sクラスが公開された!

2005年9月1日発行(毎月1回1日発行) 第29巻第9号 通巻342号

ル・ボラン LEVOLANT

Monthly Automobile Magazine <http://www.levolant.jp>

9 September
2005
Number.342
650yen

メルセデス・ベンツ New Sクラスの全貌

海外試乗 アルファ159/
アウディRS4&A8 3.2FSIクワトロ
最新ミドルクラスセダン10台バトルロイヤル
新・定番対決 BMW530i×
メルセデス・ベンツE350
レクサス・カウントダウン!
IS/GSプロトタイプ試乗



特集 Nothing but Sedan.
クルマの基本は
やっぱり
スリーボックス

セダン 至上主義!

FIRST DRIVE

プジョー1007、BMW3シリーズ・ツーリング、
ポルシェ911カレラ4カブリオレ、
フェラーリF430スパイダー、アウディA6アバント他

ドイツのイタ車チューナーが 生んだ珠玉のアルファGT

イタリア車をモディファイし続けるジャーマンチューナー、という珍しいプロフィールを持つノヴィテック。その最新作は、なんとガルウイングドアを纏ったモンスター・アルファだという。早速、ドイツのファクトリーを訪れた。

レポート | 中三川大地 | D.Nakamigawa

フォト | 柴田幸治 | K.Shibata

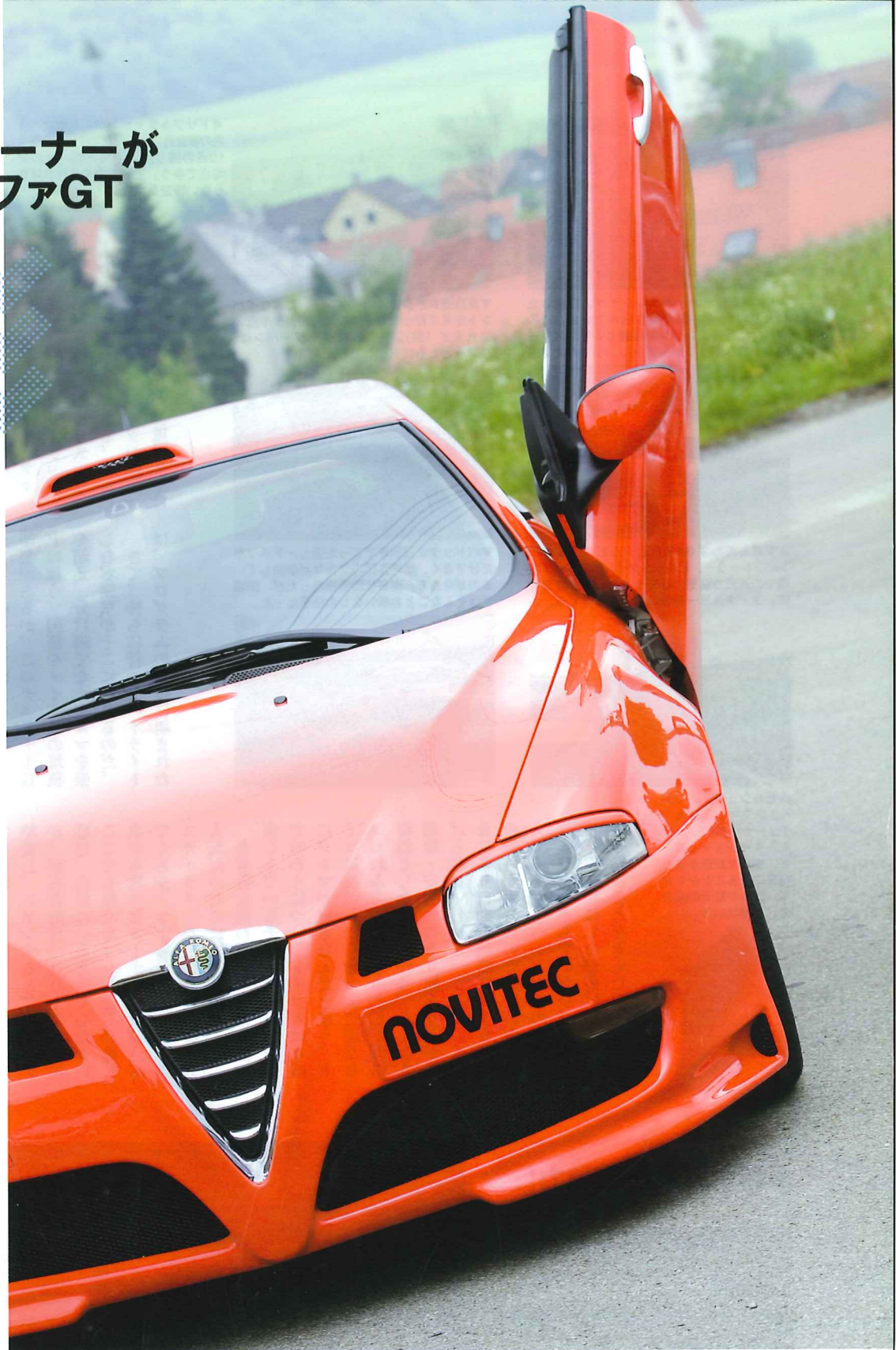
問い合わせ先=ノヴィテックジャパン ☎054-277-0763
http://www.novitec.co.jp

スーパーチャージャーで 337psを実現

こんなアルファ・ロメオは、いままで見ることがなかった。ドイツ、シュテッテンのファクトリーでは、シヨーカーのようにインパクトのあるクルマが待っていた。そのクルマとは、ノヴィテックの新作「アルファGT X-Supero (Xスペーロ)」である。

ノヴィテックは、アルファ・ロメオをはじめとしたフィアット・グループのクルマを専門に取り扱うジャーマン・チューナーだ。これまででは、外観をどことなく大人しめに、ターボやスーパーチャージャーなどの過給器を用いて圧倒的なポテンシャルを得る、というチューニングが定番だった。つまり、羊の皮を被った狼。的な、いかにもドイツ人が好みそうなス

パイスを、このエモーショナルなイタリア車たちに振りかけてきた。それが、どうだ。このアルファGTには、まったく控え目なところがない。空に向かってパンザイをしたかように開くガルウイングドアや、迫力満点のエアロパーツ、煌びやかな19インチのクローム仕立てのホイールなど、性能を最大限に誇示するようなボディメイクが随所に施されている。



NOVITEC

ノヴィテック

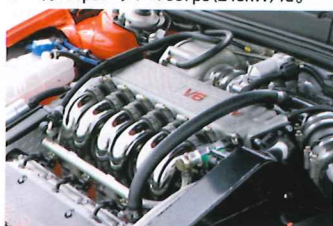
Alfa GT X-Supero

The European
Modified Car
can be
SHOT!

まるでスーパーカーのような出で立ちに、ドイツの街中での注目度は抜群だった。ドイツの子供達に取り囲まれて質問攻めに遭い、撮影が難航する、という事態まで発生したのだ。



▼アルファ伝統の3.2ℓ V6エンジンに、ノヴィテックが独自に開発したスーパーチャージャーユニットを装着。最高出力はノーマルプラス約100psアップの337ps(248kW)だ。



▼アルファGT X-Superiorは、これまでのノヴィテック・アルファにはない迫力満点のエアロパーツがふんだんに装着されている。フロントスポイラーとヘッドライトのアイラインは、アルファGTの表情をキリリと引き締め、サイドステップとリアスポイラーでドッシリした安定感を出す。ルーフトラクトとリアのGTウイングは、レーシングカーのイメージだ。これらボディパーツは、抜群のエアロダイナミクス効果をもたらすばかりか、光学的解析によって、美しく魅せるということも追求された。



実はノヴィテックには、「過激な」という意味を持つ X-Treme (エクストリーム) シリーズというものがあり、これまではセイチェントやプント、そしてステイロなどに用意されてきた。この称号が与えられたクルマは、意図的にアグレッシブなスタイリングを身にまとうのが特徴だ。それが、昨年のアルファGTの登場に伴って、初めてアルファ・ロメオに採用されたというわけである。

さて、改めてじっくりと眺めてみる。もともとベルトーネの秀逸なスタイリングを持つアルファGTだが、ノヴィテックはその美しさを少しも損なうことなく、豪華さと、圧倒的な力強さを上手く加えていることが分かる。聞くところによると、このデザインは光学的解析を用いて煮詰められたとい

う。なるほど、綺麗な光の映り方は計算されていたわけである。

存在感抜群のエクステリアに負けじと、パワートレインにはノヴィテックの流儀に沿ってスーパーチャージャーが装着される。最高出力337psというスペックは、ノーマル比約100psのアップである。今回はまだセッティング中というところで、そのポテンシャルを存分に味わうことは叶わなかったが、もともとパワフルなアルファ製ユニットだけに、そのパフォーマンスは推して知るべしというところだろう。

足回りは、オリジナル車高調整式サスペンションシステムに、スタビライザーが加えられ、ブレーキは340mm径のディスクを持つセラミックタイプである。これだけのスペックなら、あの強烈なエンジンパワーをしつかり受け止めてくれるに違いない。

ちなみに短時間の街乗りでは、低回転から溢れ出すトルクにまぎはニマリ。加えて、19インチをきっちり履きこなすしなやかな足回りは終始快適そのもの、という印象だった。

このアルファGT X-Superiorだが、インポーターを務めるノヴィテック・ジャパンは、現在先行予約を行なっている。この過激なアルファ・ロメオが、日本のアルファ・フリークに旋風を巻き起こす日が、間もなくやって来る。



▶取材当日、ちょうどどれアルファGTの作業が行なわれていた。ガルウイングは、ドアを加工することなく装着できる。ホイールはノヴィテック初となるクロム素材。ブレーキはポルト・セラムティック。340mm径のセラミックが用いられる。



インテリアはアルミ製のハンドブレーキカバー、ペダル、フットレスト、サイドシールドなどが装着されゴージャスな雰囲気が、基本的にはノーマルを踏襲。

